



第3回国連防災世界会議 仙台開催実行委員会

一般公開講演会・研究室公開：「電波科学と安全・安心」
～電磁波の建造物非破壊検査への応用～
Radio Science and Social Safety
-Application to Nondestructive Testing of Buildings-



<http://magnet.cneas.tohoku.ac.jp/satolab/satolab-j.html>

国連防災世界会議(仙台)の開催に合わせ、電波科学を利用した減災・防災技術、安全・安心のための技術開発を紹介します。装置の開発、利用に関する講演会に加え、各種レーダー装置の実機動作をご覧いただけます。展示及び実機デモ、ラボツアーのみの参加も可能です。

講演日時：2015年3月16日(月) 10:30～13:00

講演会場：東北大学 東北アジア研究センター大会議室

(〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41 川北合同研究棟4階)

<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/access.html>

仙台市営バス 東北大学入試センター前 下車徒歩3分

主催：東北大学東北アジア研究センター

後援：次世代安心・安全 ICT フォーラム

入場無料、事前登録不要 (展示及び実機デモ、ラボツアーのみの参加も可能です)

問合せ先：佐藤研究室(中井) (022)795-6074 nakai-n@cneas.tohoku.ac.jp

(10:30～12:00) 講演会

1. 木造建造物耐震診断用レーダーの開発
(東北大学 東北アジア研究センター 佐藤 源之)
2. ミリ波サーモグラフィーのセキュリティー応用
(東北大学 大学院工学研究科 佐藤 弘康)
3. 高周波パルスエコーを用いたイメージングの非破壊検査応用
(情報通信研究機構 福永 香)

(12:00～12:30) 展示及び実機デモ

1. 赤外線2次元ロックインアンプを用いた建造物非破壊検査(NICT)
2. 東日本震災による被災家屋の電磁波計測ケーススタディ集(NICT)
3. ミリ波サーモグラフィー(東北大学)
4. 20GHz帯木造家屋耐震診断用レーダー試作機(三井造船)
5. 荒砥沢GB-SARモニタリングのリアルタイム干渉画像(東北大学+栗原市)

(12:30～13:00) 佐藤研究室ラボツアー

東北大学佐藤研究室ではこれまで、地下電磁波計測手法の開発と応用、マイクロ波リモートセンシング技術・電磁波計測技術の応用、地表設置型合成開口レーダー、建造物非破壊検査法等の様々な電波応用技術の研究開発を実施してきました。ラボツアーでは、これらの実験装置の実物を展示・解説します。

- ・カンボジアで活躍する人道的地雷除去用センサー「ALIS」
- ・津波被災者捜索に使われている大型アレイ型地中レーダー「やくも」
- ・荒砥沢崖崩れをモニタリングする地上設置型合成開口レーダー

(関連会議)

3月15日(日) 国連防災世界会議 パブリック・フォーラム

「電波科学による防災・減災と地方自治体との連携」

<http://magnet.cneas.tohoku.ac.jp/satolab/satolab-j.html>

にもご参加ください。